

タンパク尿に注意!!

高齢者の方、高血圧・糖尿病・脂質異常症の持病のある方は尿検査を受けましょう

【監修：横浜内科学会】

健康診断や診察の際に尿検査を受けたら尿糖だけでなくタンパク尿にも注意しましょう。尿にタンパクが出るのは腎臓疾患の時だけではなく、多くの場合、体の中で動脈硬化がかなり進行した状態で出現します。

それを知らずに放っておくと、そのうちに脳卒中で寝たきりになったり、心筋梗塞を起こす人が多くなります。

尿にタンパクが出たら、腎臓の専門医から適切なアドバイスを受けることにより、脳卒中などで寝たきりになる危険性を減らすことができます。

横浜市では、かかりつけの先生と腎臓専門医の間の病診連携システムが整備されています。

是非、このパンフレットを持ってかかりつけの先生にご相談ください。

血液検査でeGFRが50mL/分/1.73m²未満に低下している場合や、血清クレアチニン値が男性で1.5mg/dL以上、女性で1.2mg/dL以上の場合も腎機能が低下している場合があるので、かかりつけの先生にご相談ください。

尿検査で
腎臓の状態を
確かめてみよう!

正常



じんぞうくん

腎障害



じんぞうくん

横浜CKD連携協議会

6 : プライマリケア医からの腎臓専門医への依頼状

横浜 CKD 連携協議会精査依頼書（簡略版）

平成 年 月 日

紹介先 _____ 病院 _____ 紹介元クリニック名 _____
_____ 先生ご侍史 _____ 医師氏名 _____

患者氏名

生年月日 証・脚・臍 年 月 日(歳) (男・女)

依頼理由(下記の紹介参考基準に丸印をつける形式でも結構です)

CKD 確定診断 CKD今後の治療方針 CKD患者教育・食事指導

横浜 CKD 連携協議会 紹介参考基準 該当する箇所に丸印をつけてください

Cr(クレアチニン)	男性 1.5 mg/dL 以上 女性 1.2 mg/dL 以上
eGFR	50 未満(60 未満でも可)
尿蛋白	尿蛋白2+以上の時は必ず紹介 尿蛋白尿潜血共に1+以上

紹介基準は
横浜 CKD 連携協議会が
推奨する基準であり
これより軽度での
紹介もかまいません

現病歴(患者の処方箋、検査データ(採血・検尿)のコピーを同封してください)

——当院の希望——

下記の検査・治療は、当院で施行困難なため、お返事の際、ご考慮ください

eGFR 算定 尿中アルブミン検査 1日蓄尿検査
CKD 栄養指導 エリスロポエチン皮下注 尿蛋白/尿 Cr 比
その他()

当院では、当患者において、下記の CKD 病診連携を希望します

貴院精査終了後、当院で加療希望 今後、CKD については、貴院と当院で併診希望
今後、CKD については、貴院あるいは CKD 専門のかかりつけ医で加療希望